



浄明院



飯岡神社



味生小学校

福水神社

みかんの木

スタート

味生ふれあいセンター

味生第二小学校

プール

GS

コンビニ

別府集会所

理髪店

クリーニング店

御産所橋

病院(内科)

喫茶店

スーパー

宮前川

放水路

堂敷橋

福水神社のいわれ

・神功皇后が九州にて皇子(前神天皇)をお産みになられたその帰途この地に立ち寄ったおり、皇子に瀧浴みませたいのに水がない、そこでこの神社に祈願すると、井戸から出てきたので、以後福水神社と呼ばれるようになったと伝わる。

・醍醐守藤原為時卿の奥方が子守侍を控かろうと願を立てたところ「伊予の福水神社に祈願すべし」といいう神示があった。そこで早速、福水神社に参つて、奥の院の床に敷いて寝たり、産所の床に敷いて寝たり、美しい女の子が生まれた。その産式が神様として、尊宗され、御産所と呼ばぶようになったことである。

浄明院とは

・本院は聖徳天皇の御代(724~749年)に行基菩薩が建立しました。この本院は寺伝によると、行基菩薩の松葉師如來です。その後、河野家、松平家によって庇護され、松山西部の中移寺院として来てきました。現在の本院は元禄7年(1694年)松山藩主・松平定直公により再建されたもので、大師堂、十五仏堂などの建物もあります。

・近年は伊予十二真師霊場第十一番札所として、参拝者が増えています。境内には松山市の保存樹木に指定された、推定樹齢三百年と四百年の楠の大木がそびえ、春には数百年の牡丹が咲き、牡丹の寺としても親しまれています。